

小諸市は、平成31年度から公民共同企業体への
水道業務の移行を検討しています

『公民連携』による 水道事業運営を進めます

みずから変える!



▶ほとんどの事業体（自治体）で課題が山積する水道事業

課題1：水道施設の更新や人口減少に伴う料金収入の減少。

課題2：小諸市は、すべて市職員の出向で水道事業を運営しているため、職員数の減少等により人員の確保が難しく、専門的知識や技術力の低下が懸念されている。

▶課題を解決するために「公民連携」!!

平成28年12月より進めてきた民間のノウハウや資金を活用した水道事業の運営の研究結果から、

※水道関係の総合会社である
水ing株式会社（スイング）との共同研究

「公益性の高い水道事業は、通常の民間企業へ委託するのではなく、
行政と民間が出資し設立する

『公民共同企業体』にすることが望ましい。

と判断しました。

※「公民共同企業体」とは…

行政と民間が出資し設立する民間企業で、いわゆる「第3セクター」のことです。

ただし、従来のような行政主導型ではなく、民間主導型の第3セクターとなります。

水道事業という「公益性」を担保しながら、民間の経営感覚による効率化を図ることが目的となります。

▶公民連携で変わること

窓口や検針・徴収業務、施設の維持管理など各種業務をまとめて公民共同企業体へ委託します。

水道事業者は小諸市のみであるため、全体の事業計画や予算管理は引き続き小諸市が行い、また**今回の業務移行による水道料金の値上げやサービス内容の変更はありません。**

※パートナーとなる民間企業の選定にあたっては、事業の効率化やサービス向上等への対策も選考の対象とするため、今までよりも利便性等が向上する可能性があります。

▶安心の公民共同企業体

公民連携による事業運営は、すでにくつもの事業体で行われています。

通常の民間委託とは違い、公民共同企業体は行政が関わりますので、民間の事業からの撤退などを防ぐことができます。

また、民間企業であることから、将来的には近隣事業体からの業務受託なども可能であり、広域連携による事業効率化も期待できます。

※詳しくは、[上水道課ホームページ](#)をご覧ください。

☎ 上水道課 経営改革係